

近代化遺産をめぐるまち歩きツアー

八幡浜・保内編

研究員 平田 遥

(公財)えひめ地域政策研究センター(以下センター)が平成25年度に発刊した「えひめの近代化遺産(普及版)を活用し、7月19日(日)に「近代化遺産まち歩きツアー」を実施しました。ここでは、その様子をご紹介します。センターでは、近代化遺産に関わる事業を実施してきた経緯があり、身近な近代化遺産を知る「まち歩き」を行うことで、地域住民の方々へ、より深く地域の身近なことを知ってもらおうとともに、まちづくりに役立ててもらえるよう啓発することを目指しています。

当日は、近代化えひめ歴史遺産総合調査にて主任調査員を務められ、センターの近代化遺産活用アドバイザーでもある

【行程】

菊池清治家住宅→豫州銀行本店(現:伊予銀行八幡浜支店)→八幡浜第一防空壕→梅美人酒造→白石和太郎家住宅及び洋館→宮内川青石護岸(東洋紡績川之石工場と美名瀬橋)→二宮庄屋跡石垣→日進館(現:愛媛蚕種株式会社)→伊予銀行川之石支店



八幡浜第一防空壕

岡崎直司さんのガイドで、参加者15名の方々と一緒に八幡浜・保内をめぐるツアーを行いました。

今年行った実測調査で多くの発見があった菊池清治家住宅、四国初の本格的な防空壕である八幡浜第一防空壕、梅美人酒造

での酒蔵見学などを行いました。また、白石和太郎家住宅及び洋館では管理人の矢野さんに案内をしていただき、どの場所もまち歩きならではの貴重な体験ができました。

参加者の方からは、「知らないことばかりだったので、八幡浜と保内の内側を知ることができて良かった。」「見識が広がった。」「定期的にツアーの企画をしてほしい。」「郷土を愛する気持ちとまち並み保存にかける情熱がひしひしと伝わってきた。」「とても良い時間を共有できた。」「などのご感想をいただきました。

今回のツアーでは、反省点もありまし

たが、実際に近代化遺産に触れることで発見、また皆さんと楽しい時間を過ごすことができ、とても充実した1日になりました。

愛媛県内には多くの近代化遺産があります。地域の近代化遺産を知っていただくきっかけづくりとして、今後もセンターでは、近代化遺産の普及啓発を通して、近代化遺産の価値や魅力を情報発信し、観光振興や地域資源の掘り起こしにつながる魅力ある地域づくりをしたいと考えています。



白石和太郎洋館